

DV

ドメスティック・バイオレンスと子ども

家庭内で暴力を目撃した子どもの心の回復プログラム



湘南DVサポートセンターの「暴力を目撃した子どもの心の回復プログラム」は、アメリカの非営利法人DAPが開発したプログラムの基本を2日にわたって学びます。緻密に組み立てられた10週間に及ぶプログラムの骨子をしっかりおさえておけば、子どもたちのサポートをするうえで大きな心の支えになるはずです。このプログラムの使いやすい部分を取り入れ応用し、実践の場で活かしてください。

- 日時：2010年12月11日(土)10:00～16:00
2010年12月12日(日)10:00～16:00
- 会場：あーすぷらざ 会議室
神奈川県立地球市民かながわプラザ1階
横浜市栄区小菅ヶ谷1-2-1
(JR根岸線「本郷台」駅改札出て左すぐ)
- 定員：25名(先着順)
- 費用：3,000円
*神奈川県助成金を受けて運営されています。
- 申込：お名前、ご所属、電話、FAX、住所、Eメールをご記入の上
FAXまたはEメールでお申し込みください。

家庭内で暴力を目撃した子どもの心の回復プログラム

子どもたちにとって、生活の基盤は家庭にあります。

その家庭の中で暴力が起こっていたら、子どもの成長に欠かせない愛情や安心感、精神的な充足は得られません。それが、いじめにつながることもあります。

子どもたちに暴力を見せていることが、いかに大きなダメージを与えるか、大人はしっかり自覚する必要があります。

DVや虐待の被害者は、安全・安心を感じられる場所で、信頼できる人との関係のなかで、長い時間をかけながら、「回復の階段」を少しずつあがっていきます。周囲にいる大人が、「心の回復のプロセス」を把握していれば、どのタイミングでどのような支援をすればよいか手がかりがつかめます。

「暴力を目撃した子どもの心の回復プログラム」は、子どもたちが「怒り」や「悲しみ」などの感情を適切に表現し、自分自身で身を守る具体的な方法を見つけられるように支援するプログラムです。

最終的な目標は、子どもが肯定的な体験を通して、自尊心を高めること。

今回の研修は、神奈川県子ども・子育て支援活動活性化促進事業の助成金を受けて開催されます。

保育所、学校、児童養護施設、児童相談所、配偶者暴力相談支援センター、男女共同参画センター、シェルター、裁判所、警察、自治体の職員の方をはじめ、学生、保護士、民生委員、児童委員、人権擁護委員など、地域で子どもたちに関わる様々な職種の方のご参加をお待ちしています。

申込方法 FAX 送信先:0466-36-6616 Eメール:tryton@kodomo-support.org

下記の①～⑥に必要事項をご記入の上、お一人一通でFAXかEメールでお申込ください。

受付後、2週間以内にご連絡をいたします。連絡がない場合は、お問い合わせください。

①お名前	(ふりがな)	②ご所属	
③電話番号		④FAX番号	
⑤Eメールアドレス		⑥チラシ入手先	
通信欄			

Domestic Abuse Project,

アメリカの非営利法人 DAP (Domestic Abuse Project) は、“女性への暴力防止”のために1979年に設立されました。4つのプログラム「セラピー」「社会的介入」「調査・評価」「トレーニング」を、毎年数百人もの女性、男性、子ども達に提供しています。湘南DVサポートセンターは、DAPと業務提携のもと、日本国内でのプログラム普及を行っています。

特定非営利活動法人 湘南DVサポートセンター
〒251-0044 神奈川県藤沢市辻堂太平台 2-2-3-102
TEL 090-4430-1836 FAX 0466-36-6616
e-mail: tryton@kodomo-support.org
http://www.kodomo-support.org

会場：あーすぷらざ

